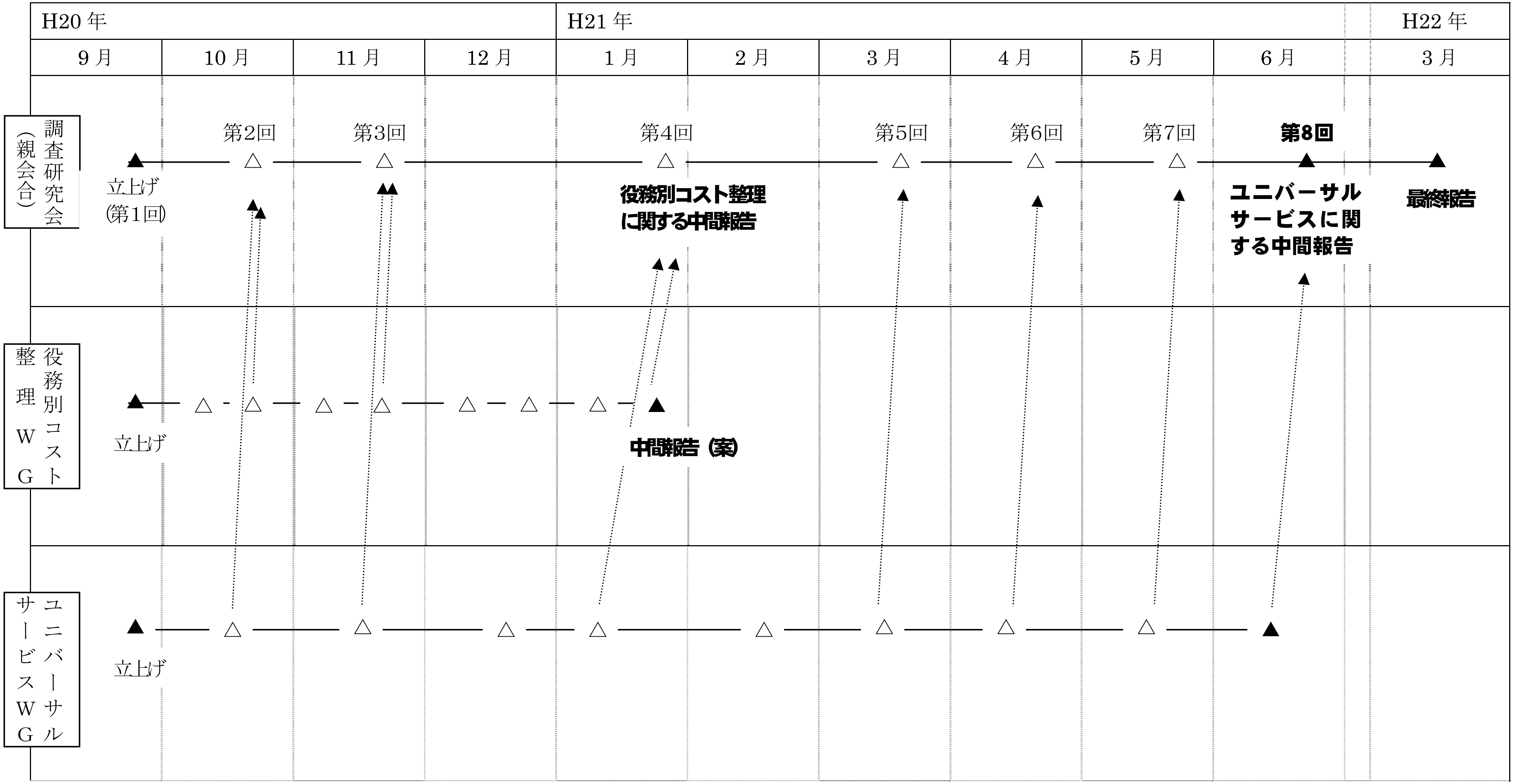
資料６

今後の進め方（案）


H20 年
H21 年
H22 年
9 月
10 月
11 月
12 月
1 月
2 月
3 月
4 月
5 月
6 月
3 月
調査研究会（親会合）
第2回
第3回
第4回
第5回
第6回
第7回
第8回
立上げ
(第1回)
役務別コスト整理に関する中間報告
ユニバーサルサービスに関する中間報告
最終報告
役務別コスト整理WG
立上げ
中間報告（案）
ユニバーサルサービスWG
立上げ

ユニバーサルサービスに関するワーキンググループの当面の進め方

<u>第1回（20年9月下旬）</u>

① 郵便・信書便制度及び事業の現状
② 郵便のユニバーサルサービスの範囲及び水準
③ 今後の進め方

<u>第2回（20年10月中旬）</u>

① 局別損益（郵便事業株式会社）
② ユニバーサルサービス確保方策（基金、税制、補助金等）の個別検討①
　・他事業、外国の例

→ *第1回及び第2回の開催状況を親会合に報告*

<u>第3回（20年11月中旬）</u>

① ユニバーサルサービス確保方策（基金、税制、補助金等）の個別検討②
　・郵便事業への適用の可能性
② 社会貢献基金との関係の整理

→ *第3回の開催状況を親会合に報告*

<u>第4回（20年12月中旬）</u>

○ ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討①
　・算定方式の比較検討（「ＮＡＣ法」、「ベンチマーク方式」等）
　・ユニバーサルサービス提供の便益

<u>第5回（21年1月中旬）</u>

○ ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討②
　・諸外国の動向
　・ユニバーサルサービスコストの算定単位

→ *第4回及び第5回の開催状況を親会合に報告*

第6回（21年2月中旬）

① 役務別コスト整理のあり方に関する検討結果の説明
② ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討③
・事業者の効率性の確保
・コスト算定に必要なデータ（検討の進め方）

第7回（21年3月上旬）

○ ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討④
・コスト負担事業者の範囲
・稼働時期
・論点整理

→ 第6回及び第7回の開催状況を親会合に報告

第8回（21年4月中旬）

○ ユニバーサルサービスコストの算定に必要なデータの検討

→ 第8回の開催状況を親会合に報告

第9回（21年5月中旬）

○ 中間取りまとめに向けた論点整理

→ 第9回の開催状況を親会合に報告

第10回（21年6月上旬）

○ 中間取りまとめ（案）

→ 第10回の開催状況及び報告書案を親会合に報告

役務別コスト整理のあり方ワーキンググループの進め方

第1回（20年9月中旬）

① WGの基本認識の共有
② 現行郵便制度等の情報共有
③ 会計分離を巡る議論
④ 現行の郵便事業株式会社の会計制度の問題点の洗い出し

第2回（20年10月上旬）

① 公益事業の会計分離の例の情報共有
② 目的内業務と目的外業務との間の内部相互補助の検証方法

第3回（20年10月中旬）

① 郵便事業株式会社の会計の現状の情報共有
② 会計整理の方法の透明化・適正性を確保する方策

→ *第1回から第3回までの開催状況を親会合に報告*

第4回（20年11月上旬）

① 会計分離を目的として公益事業で採用しているドライバーの情報共有
② 適正なドライバーの検討
③ 理論的なドライバーの設定
④ 資産の分計方法

第5回（20年11月下旬）

○ 郵便業務の適正利潤

→ *第4回及び第5回の開催状況を親会合に報告*

第6回（20年12月上旬）

○ 財務会計データのディスクローズの考え方

第7回（20年12月中旬）

○ 財務会計データのディスクロ－ズの考え方

第8回（21年1月中旬）

○ 会計整理の方法の透明化のための考え方

第9回（21年1月下旬）

○ 報告書（案）

→ *第6回から第9回までの開催状況及び報告書案を親会合に報告*

（注）第2回以降の会合においては、その前回の会合における議論の整理を行う。